

# 文化遺産の継承と発展 郷土芸能復興支援メッセ

## みんなで語り、みんなで継なごう

### 個別相談コーナー

#### 芸能道具、衣装関連

株式会社宮本卯之助商店

株式会社伊藤染工場ほか

道具の製作や修理の実演  
とともに、日頃の手入れの方法などについて、わかりやすく紹介いたします。



当日持参のみなさんに  
無償で締め太鼓を締め直し  
いたします

### 語り場

芸能団体や助成組織・機関のみなさんによる復興の歩みや現状についての報告を踏まえ、今後検討・改善すべき課題などについて、会場のみなさんとともに話し合っていただきます。

芸能道具・衣装関連業者のみなさんによる、日ごろ心がけるべき道具等の維持・管理方法についての紹介の後、会場からの質問もお受けします。



### 助成組織、団体

公益財団法人全日本郷土芸能協会

公益社団法人企業メセナ協議会 ほか

震災関連だけでなく、平常時を含むさまざまな助成制度と、その申請手続きなどについて、丁寧にご案内いたします。

### 行政

各市町村

各地の実情をよく知る行政担当者が、サポート体制などについて、幅広く相談をお受けいたします。

### 一般公開

(参加無料／事前申込不要)

日 時

平成28年11月13日(日)  
13:00～16:00

会 場

大船渡市立 三陸公民館  
大ホール

大船渡市三陸町越喜来字前田 36-1

主 催  
国立民族学博物館

後 援

大槌町教育委員会／大船渡市教育委員会／釜石市教育委員会  
山田町教育委員会／陸前高田市教育委員会

# 文化遺産の継承と発展 郷土芸能復興 支援メッセ

# みんなで 語り、 みんなで 継なごう

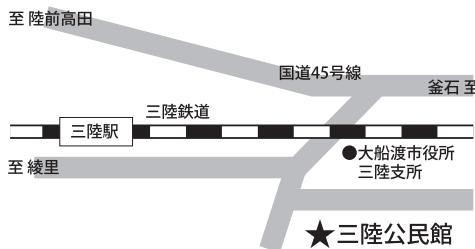


会 場

**大船渡市立三陸公民館**

**大ホール**

大船渡市三陸町越喜来字前田 36-1  
駐車場あり(約120台)



## 文化遺産の継承と発展 郷土芸能復興支援メッセ 開催趣旨

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方太平洋沿岸の3県を中心に甚大な被害をもたらしました。その被害は人びとの暮らしのあらゆる面におよび、各コミュニティが地域のなかで育み、継承してきた伝統文化も、その担い手の被災や道具類の喪失などによって、大きな痛手を被りました。

国立民族学博物館は、東日本大震災発生後、他の組織や団体と協力し、被災地の文化遺産の被害状況を調査し、その再建・復興に向けての支援をおこなってまいりました。それと同時に、2012年から毎年、被災地の郷土芸能を関西にお招きし、博物館等での公演を、被災地の現状を広く知ってもらうためのシンポジウムと合わせて開催してきました。また、現地の郷土芸能継承者と連携し、活動再開に支障を抱えている団体の実態調査と、必要経費の申請手続きのサポートをおこなってきました。

これまでの5年半にわたるこのような活動を通じて、伝統文化とりわけ暮らしと密接に結びついた郷土芸能のもつ意味、地域の復興や生活重建に果たす役割の大きさを改めて知るとともに、活動再開が困難な状況からの脱却には、多方面からの支援が必要かつ重要であることが明らかになりました。

今回開催する「郷土芸能復興支援メッセ」は、郷土芸能団体が活動を継承し、未来に向けてさらに活動を活性化していくために、被災した郷土芸能団体のこれまでの歩みと現在の課題を共有するとともに、今後も発生する自然災害などによる存続の危機に対応するための、事前対策、支援の在り方、その支援を受けるためのノウハウの整理、平時における衣装・道具類の維持・管理の仕方などを共有する機会となることを目的としています。

芸能道具・衣装関連の専門業者や、助成組織・団体、さらに行政の担当者による、それぞれの「個別相談コーナー」を設置するとともに、復興の歩みや現状についての報告をふまえ、会場のみなさんとともに語り合っていただく「語り場」を設けました、多くの方々のご参加をお待ちしています。

本メッセは以下の研究プロジェクトの成果の一部です。

科学研究費補助金基盤 B

「東日本大震災で被災した民俗文化財の保存および活用に関する基礎研究」

(代表 日高真吾 課題番号 15H02954)

科研費  
KAKENHI

人間文化研究機構基幹研究

「日本列島における地域文化の再発見とその表象システムの構築」

(代表 日高真吾)

お問い合わせ先

**国立民族学博物館 林勲男研究室**

TEL06-6876-2151(代) Eメール [isaki@idc.minpaku.ac.jp](mailto:isaki@idc.minpaku.ac.jp)